

■光能動部品標準化部会

概要

現在、種々の光能動部品が情報処理・光伝送システムなどの産業用機器をはじめ映像やオーディオなどの民生機器にも基幹部品として幅広く使用されている。このような状況において、光能動部品に関する標準化の推進は、機器の低コスト化への貢献とともに世界的技術競争に勝ち残りつつ産業の一層の発展を図り、技術の効率的利用の拡大を図るために必要不可欠である。本部会は、光能動部品に関するアンケート等によって明らかとなったユーザの規格化ニーズが高い項目を優先してJIS化を進めるべく活動を行っている。

光能動部品関連のJISは、1981年度から光産業技術振興協会において実施された光伝送用光能動部品のJIS案作成を中心とした調査研究の成果を基として制定され、随時見直し・改正等が行われた結果、現在は39種類のJISが制定（改正を含む。廃止を除く。）されている。

2025年度は4回の部会を開催し、2024年度の検討結果を踏まえ新たな標準化ニーズの調査、IEC/SC 86C/WG 4における光増幅器励起用半導体レーザー規格策定への協力、及び既制定JISの見直しに伴うJIS改正案の具体化を中心に検討を進めた。

部会開催予定(2026年度)

回	日程	曜	時間	会議形式
第1回	2026/4/15	水	14:00～ 17:00	hybrid
第2回	2026/8/26	水	14:00～ 17:00	web
第3回	2026/11/24	火	14:00～ 17:00	web
第4回	2027/2/17	水	14:00～ 17:00	hybrid

(順不同)

参加メンバ
公立千歳科学技術大学
IGSコンサルティング
古河電気工業株式会社
N T T 株式会社
住友電気工業株式会社
三菱電機株式会社
アンリツ株式会社
株式会社白山
一般財団法人日本規格協会
経済産業省